

[別紙]

履歴書及び研究業績目録は下記を参照のうえ作成して下さい。

記

<履歴書について>

1. 学歴は高等学校卒業以降を記載して下さい。
学位取得も記載して下さい。
例:昭和55年3月 農学博士(東京大学 第 号)
平成 7年3月 学士(獣医学)
獣医師免許等(国家資格)を取得している場合は記載して下さい(免許欄に記載しても結構です)。
例:昭和50年4月 獣医師免許(第 号)
2. 職歴は期間がわかるように記載して下さい。
例:平成6年4月 大学医学部非常勤講師(平成8年3月まで)
平成8年4月 岩手大学教授 農学部
平成9年4月 岐阜大学教授 大学院連合獣医学研究科兼任
現在に至る。

<研究業績について>

A4判の用紙に、A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a)学術雑誌(*1)、(b)紀要(*2)、(c)プロシーディングズ、E.その他(*3)、F.報告書等(*4)、G.特許等、H.国際学会発表(*5)、I.国内学会発表(*6)、J.研究費補助金の獲得状況の順に、記載例を参考に作成して下さい。総説・論説がない場合は、C.原著論文、のように繰り上げて下さい。上下左右約3cmの余白をとり、1行35～40字で40行程度(和文の場合)にして下さい。

- *1:学会誌,国際誌等を年代順に記載する。
- *2:試験場報告,研究所報告等を含む。
- *3:商業雑誌,資料等を記載する。
- *4:調査報告書,科学研究費報告書,事業報告書等を記載する。
- *5:最近5カ年について記載する。
- *6:最近5カ年について記載する(教授選考の場合は不要)。
- *7:学名にはアンダーラインをつけるか,またはイタリック体で記載する。

(記載例)

研究業績目録

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎(単著)(2001)
農学の歴史について. 出版社, 東京.
2. 岩手一郎(分担執筆)(2002)
寒冷地の畑作物. 『岩手の農業』(大学太郎, 学部次郎 編), 堂, 盛岡, pp. 10-20.
3. 岩手一郎(分担翻訳)(2003)
牧場経営. 『アメリカの農業』(Carter, A.B. 著, 大学太郎監訳), 社, 東京, pp. 20-30.
4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆)(2004)
Feeding technology. In “Agricultural Sciences” (Eds.: Green, D.E.F. and James, H.I.), Bio Press, London, pp. 30-40.

B. 学位論文

1. 岩手一郎(1995)
XYZに関する研究[学修士または修士(学) 大学]
2. 岩手一郎(1998)
ABCに関する研究[学博士または博士(学) 大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎(1997)
岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No. 3: 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡二郎(1998)
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15: 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎(2000)
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5: 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Touhoku, N. (2001)
Distribution of wild animals in Iwate. Jpn. J. Anim. Sci. 20: 100-105.
3. Iwate, I. (2002)
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25: 30-35.

(b) 紀要

1. 岩手一郎(2001)
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17: 30-40.

(c) プロシーディングズ

1. Iwate, I., Morioka, J. and Touhoku, N. (2002)
Life mode of Japanese macaques in northern Japan. Proc. 5th Int. Cong. Wild Animals, Berlin, pp. 40-45.

E. その他

1. 盛岡二郎, 岩手一郎(2001)
北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No. 125: 35-45.

F. 報告書等

1. 盛岡二郎, 岩手一郎(2002)
イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告書(県), pp. 10-20.

G. 特許等

1. 岩手一郎, 盛岡二郎(2002)
BSEプリオンの検出方法. 特許第 123456 号

H. 国際学会発表(最近5カ年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (2004)
Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Animal. Ecol., New York.

I. 国内学会発表(最近5カ年)

1. 岩手一郎, 盛岡二郎(2003)
岩手の野生動物. 第 100 回日本野生動物学会講演要旨, pp. 25-26.

J. 研究費補助金の獲得状況

1. 平成16年度 科学研究費補助金(基盤研究(A)研究代表者)
2. 平成14年度～ 財団奨励研究費 (分担)

以上